



みてね 基金

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

## 知的障害児者を対象とした、新型コロナウイルス感染症対策 衛生用品備蓄と無償提供を開始します

知的障害児者とその家族や支援者で構成される一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会（会長：久保 厚子、以下「本会」という。）では、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）を疫病による「災害」として捉え、本会東京事務所を「対策本部」に位置付けて各般の取組みを進めているところです。

このたび、子どもやその家族を取り巻く社会課題の解決に向けて活動する団体に対し、資金の提供および助成先団体の活動支援を行う目的で設立された「みてね基金」

（<https://fund.mitene.us/>）からの助成と本会の「災害等活動支援基金」を活用し、本年11月から次のとおり知的障害児者を対象とした新型コロナ対策の衛生用品の備蓄と無償提供を開始しました。

### 1 取組みの概要

新型コロナに感染または濃厚接触が確認された場合の対応は、一義的に都道府県（保健所）が主導して対応しますが、個人用防護服（以下「PPE」という。）やN95マスクなどの専門的な衛生用品が届くまでには多少の時間を要すると想定されます。また、障害福祉サービス・障害児福祉サービス事業所（以下「障害福祉サービス等事業所」という。）の場合にはある程度の組織的な対応が期待できますが、知的障害児者は自宅で家族同居しているケースが大半であることを考えると、家族が感染した場合には短期入所施設（あるいは濃厚接触者専用施設）への移送か、自宅へのヘルパー派遣による対応が不可欠となります。

このような状況が発生した場合に、公的な支援が提供されるまでの間、PPEやN95マスクなどの衛生用品を無償で提供することにより、知的障害児者の生活継続、障害福祉サービス等事業所の事業継続を支援するものです。

なお、全国組織の障害者団体において新型コロナに着目した衛生用品の備蓄と無償提供を実施するのは、本会が初となります。

### 2 衛生用品備蓄の概要

衛生用品の備蓄については、全国組織である本会のスケールメリットを活かし、全国で7か所の備蓄拠点を設けました。なお、知的障害児者の世帯で感染が発生した場合と障害福祉サービス等事業所で感染が発生した場合では必要となる衛生用品の分量が異なること

から、次のとおりケース分けして備蓄することとしています。

| ケース分け   | 積算根拠                      | 具体的なセット内容  |
|---|---------------------------|--|
| (ケース1)<br>家族または本人が新型コロナに感染（濃厚接触）した場合に在宅でのサービス利用（ヘルパー利用）継続を支援するケース | ヘルパー：<br>1日延べ2名 × 3日で積算   | PPE 6着<br>N95マスク 3袋<br>※ 1袋10枚入り<br>ゴーグル 6個<br>手指消毒液 1本<br>衛生手袋 1箱 |
| (ケース2)<br>知的障害児者が利用する障害福祉サービス等事業所で感染発生時の事業継続を支援するケース              | 直接支援職員：<br>1日延べ3名 × 3日で積算 | PPE 9着<br>N95マスク 4袋<br>※ 1袋10枚入り<br>ゴーグル 9個<br>手指消毒液 1本<br>衛生手袋 1箱 |

※ 感染発生後の3日程度をカバーする前提とします。その後は、都道府県などが備蓄または購入する衛生用品で対応となります。

(エリアごとの備蓄拠点と備蓄数)

北海道（北海道手をつなぐ育成会）

◇ケース1 × 2セット / ケース2 × 2セット / 予備ゴーグル 10個

東北・関東甲信越（東京都手をつなぐ育成会）

◇ケース1 × 5セット / ケース2 × 5セット / 予備ゴーグル 20個

東海・北陸（愛知県知的障害者育成会）

◇ケース1 × 4セット / ケース2 × 4セット / 予備ゴーグル 20個

近畿（大阪手をつなぐ育成会）

◇ケース1 × 4セット / ケース2 × 4セット / 予備ゴーグル 20個

中国・四国（岡山県手をつなぐ育成会）

◇ケース1 × 3セット / ケース2 × 3セット / 予備ゴーグル 10個

九州（福岡県手をつなぐ育成会）

◇ケース1 × 3セット / ケース2 × 3セット / 予備ゴーグル 10個

沖縄（沖縄県手をつなぐ育成会）

◇ケース1 × 2セット / ケース2 × 2セット / 予備ゴーグル 10個

### 3 新型コロナ発生時のながれ

万一、知的障害児者や家族が新型コロナにり患した場合、あるいは知的障害児者が利用する障害福祉サービス等事業所で新型コロナが発生した場合には、次ページのながれに沿って衛生用品を配付します。

- (1) 新型コロナが発生したエリアの正会員が情報を把握する
- (2) 把握した情報に基づき、正会員が「ケース1・2のどちらに当たるか」と「衛生用品の希望有無」を確認する
- (3) 確認の結果、衛生用品の配付希望ありだった場合には、「新型コロナ衛生用品発送希望票」を漏れなく入力した上で、速やかにメールまたはFAXにて本会東京事務所へ送信し、あわせて電話にて送信を連絡する
- (4) 東京事務所は、ただちに備蓄担当正会員へメールにて配送希望票を転送するとともに、電話連絡する
- (5) 備蓄担当正会員は東京事務所から発送希望票を受信後ただちに配送業者（出入りの配送業者で可）に最短での速達にて衛生用品を配送する

当会としては、今回の取組みを通じて、コロナ禍にあっても知的障害児者や家族が少しでも安心して過ごすことができる地域生活に寄与することを目指します。また、国、都道府県、市町村に対しては、衛生用品の備蓄なども含め、新型コロナに対応した公的なサポート体制を確立することを期待します。

#### **【全国手をつなぐ育成会連合会・災害等活動支援基金】**

滋賀銀行（銀行コード：0157）県庁支店（支店番号：160）

普通口座 口座番号：0519909

口座名義：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会  
災害等活動支援基金 会長 久保厚子

以 上